

背負式電動噴霧器

YS-EFULB12L

YS-EFULB16L

YS-EFULB20L

クイックガイド

★ご使用前に必ず充電を行ってください。

安全に正しくお使いいただくために、ご使用前に本ガイドとWEB取扱説明書を必ずお読みください。ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

詳細は
カラー版のWEB取説
をご覧ください



ハイガー株式会社はSDGs・カーボンニュートラルの取組の一環として、紙の取扱説明書を大幅に削減いたしました。どうぞご理解ください。



安全上のご注意

お使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■表示内容を見逃して、誤った使い方をしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

警告 この表示の欄は「死亡または重症を負う恐れがある」内容です。

注意 この表示の欄は、「軽症、物的損害、故障が生じる恐れがある」内容です。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

日々製品（部品やカラーも含め）の改良を行っています。そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。

警告（製品に係る安全事項）

禁止	農園芸用薬剤の散布を目的にしています。指定された用途以外でのご使用は、お客様の責任にてご使用ください。	強制	薬剤の使用にあたっては、薬剤の説明書に従ってください。
	正しい操作を知らない人、子供には操作をさせないでください。		
	身体の調子が悪いときは、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。		薬剤タンク蓋は、薬剤が漏れないように、しっかり閉めてください。
	作業場は十分に明るくしてください。夜間や悪天候など視界が良くないときは使用しないでください。		突然の噴霧を防ぐため、電源スイッチのON、OFFの切替は、レバーを握らない状態で行ってください。
	この取扱説明書に記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。		
	異常があった場合には、完全に補修した後でなければ本製品を再始動しないでください。		噴霧作業中は常に風向きを考え、風上から風下に噴霧して薬剤が体に直接付着しないように十分ご注意ください。
	危険を感じたり、予測される場合も、必ず本製品を停止してください。		
	作業中は、他の人や動物を近づけないでください。		
	充電中は発生したガスに引火し爆発することがあります。火気を近づけず通気の良い場所で充電してください。		日中の気温が高いときの噴霧作業は避けてください。朝、午後での噴霧作業をお勧めします。

⚠ 警告 (製品に係る安全事項)

 禁止	必ず専用充電器で充電してください。自動車等の充電器を使用しないでください。	 強制	薬剤の吸入や付着による事故を防ぐため、帽子、保護メガネ、保護マスク、ゴム手袋、長袖、長ズボン、ゴム長靴を着用し皮膚が露出せず危険のない服装で作業を行ってください。
	バッテリー、充電器を分解しないでください。		
	バッテリーの近くで工具やその他金属を使用する場合、端子の接触、短絡に注意してください。感電や火災の発生の恐れがあります。		
	濡れた手で電源プラグに触れないでください。		
	ベンジンやガソリンなど可燃性の液体や溶剤、園芸薬剤以外や、酸性及びアルカリ性の液体、油性薬剤、畜産用薬剤、ケルセン水和剤は絶対に使用しないでください。その他、上記のような成分を含んだ薬液も使用しないでください。		

⚠ 注意 (製品に係る安全事項)

 禁止	使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。	 強制	本製品をご使用になる前に、この取扱説明書をよく読み、理解したうえで正しく取扱ってください。
	周囲温度が10℃未満、あるいは周囲温度が40℃以上ではバッテリーを使用・充電・保管しないでください。破裂や火災の恐れがあります。		作業に適した服装を心がけてください。
	幼児の手の届く範囲では使用しないでください。		各部の操作に慣れ、すばやく停止する方法を習得してください。
	子どもに遊ばせないでください。		日常点検を行い、本製品を常に良好な状態でご使用ください。
	本製品全体に水をかけたりしないでください。		グリップをしっかりと握り、正しい姿勢で作業をしてください。
	本体を落下させたり、過度の衝撃を与えないでください。		使用前に接続部のパッキンの脱落がないこと、ネジの緩みや欠落した部品などがなく、ホースに亀裂、摩耗、破損のないこと、各部に異常がないことを確認してください。
			タンクに薬剤を入れるときは、必ず備え付けのタンクストレーナー（こし網）を通してください。
			充填時にこぼれた薬剤をその場できれいに拭取ってください。
			運転時は必ずタンクに、薬剤または水を入れて行ってください。空運転はポンプを傷めることがあります。
	使用後は薬剤タンク内の残液を抜き、清水を入れたポンプを数分間（2～3分）運転し、ポンプ、ホース、ノズル等の内部に残っている薬剤をきれいに流してください。		
	屋内の直射日光が当たらず、風通しがよく、凍結しない、子供の手の届かない場所に保管してください。		

⚠️ 注意 (製品に係る安全事項)



禁止

お手入れは、強酸性、強アルカリ性の薬剤やシンナー、ガソリン、ベンジン等は絶対に使用しないでください。



強制

薬剤は必ず調合してからタンクに入れてください。自動車等で運搬される場合は、薬剤が漏れないよう、タンク蓋をしっかりと閉めて、傾かない状態に固定してください。

子供の手の届かない安全で、乾燥した場所に保管してください。

部品交換は、純正部品を使用してください。

定期点検整備を行ってください。

各部の名称

※本取扱説明書に掲載されている写真はプロトタイプのため、本製品と仕様異なる場合があります。



梱包部品一覧

1. ユニットとすべてのアクセサリを慎重に箱から取出し、全てのユニット・アクセサリに不足・問題がないことを確認してください。
2. 製品を注意深く点検し、輸送中の損傷がないことを確認してください。万が一損傷が見受けられた場合は、運送会社に1週間以内に連絡をしてください。
3. 梱包材を慎重に検査し、使用する前に廃棄しないでください。不足している場合は、お手数ですが弊社までご連絡ください。

⚠️ 警告

不足しているものがある場合は、不足している部品を入手するまで使用しないでください。

<p>A. 本体</p>  <p>※写真は16L</p>	<p>B. 噴霧ホース・グリップ</p> 	<p>C. 充電器</p> 
<p>D. 噴霧管 ※2本以上の接続不可</p> 		
<p>E. ノズル</p> 	<p>F. 噴霧管ホルダー</p> 	
<p>G. ウエストベルト・アタッチメント</p> 	<p>H. タンクストレーナ</p> 	<p>I. パッキン(予備)★</p> <p>※形状・色・数量は変わる場合があります。</p> 
<p>J. 計量カップ★</p> 		<p>K. シール★</p> 

※付属品の一部は、タンク内に同梱されています。
 ※予告なく仕様変更になる場合があります。
 ★はサービス品です。予告なく終了することがあります。

主要諸元

モデル名	YS-EFULB12L	YS-EFULB16L	YS-EFULB20L
噴霧量	最大4.0L/min		
噴霧力	0.20 ~ 0.68MPa		
タンク容量	12L	16L	20L
最大使用温度	65℃		
バッテリー	鉛蓄電池8A		
使用時間※1	最大約10時間		
充電	インプット100V アウトプット12V		
充電時間※2	充電時間：7～8時間 (放電状態により変わります)		
バッテリーの寿命目安※3	3年		
噴霧ホースの長さ	約1340mm		
噴霧管の長さ	約540～980mm		

※1 バッテリーの状態や噴霧量によって異なります。

※2 工場で一度満充電にしているため、出荷のタイミングによっては、はじめから満充電に近い状態の場合があります。(充電器のLEDランプが「緑」点灯) その場合は約1～2時間充電してください。

※3 使用環境により異なります。

◎弊社は、顧客満足度100%を目指し、日々製品(部品やカラーも含め)の改良を行っています。

そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。

また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。



組立て

⚠注意

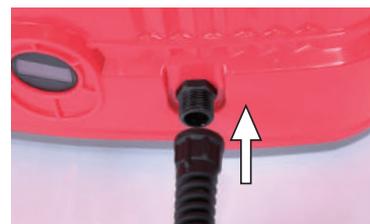
- 各接続部には、パッキンが付いていることを確認してください。
- 接続部より液漏れがないようしっかり締付けてください。

噴霧ホースの取付け

1 本体のホース取付口に噴霧ホースのコネクタを挿込みます。



2 コネクタを時計回りに回して締付けます。



噴霧管の取付け



ノズル側



グリップ側

※噴霧管を2本以上接続することはできません。

1 噴霧管グリップ側にパッキンがあることを確認します。



2 グリップに噴霧管を取付けます。噴霧管を時計回りにしっかり締めます。



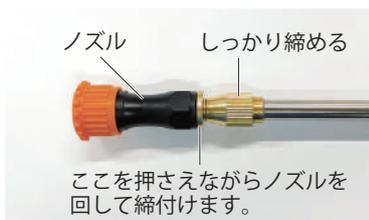


ノズルの取付け

- 1 噴霧管ノズル側にパッキンがあることを確認します。



- 2 用途に合わせてノズルを選択し、噴霧管に取付けます。



- 3 ノズル(調整不可タイプ)先端に緩みがないか確認をしてください。緩みがあると水漏れします。



- 4 使用しないノズルは小物入れに収納することができます。(ノズルE-6は分解してください。)



噴霧管ホルダーの取付け

- 1 本体上部の突起に噴霧管ホルダーを挿込みます。



- 2 噴霧管ホルダーは、汎用部品のため噴霧管装着部が2カ所ありますが、本製品の場合は、小さい方に装着してください。



⚠注意

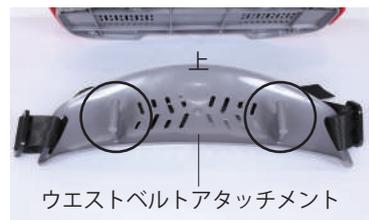
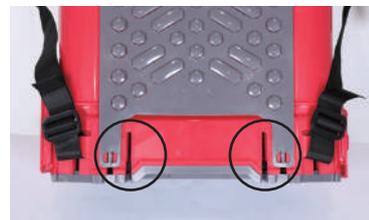
噴霧作業中などに噴霧管ホルダーを紛失しないよう、使用しないときは小物入れに入れてください。



ウエストベルトアタッチメントの取付け

ウエストベルトをすることで、腰でタンクを支えるため軽く感じられます。また、横揺れを低減します。

- 1 本体背面の切込み部分にウエストベルトアタッチメント背面の突起部分を挿込みます。



- 2 上までしっかり挿込みます。



運転前の準備

警告

- ・充電中は、子供が近づかないようにしてください。
- ・充電中は、発生したガスに引火し爆発することがあります。火気を近づけず、通気の良い場所で充電してください。
- ・必ず専用充電器で充電してください。自動車等の充電器を使用しないでください。
- ・使用前にバッテリー充電器のコードと出力コネクタを検査してください。もし何か損傷があったらそのまま充電しないでください。
- ・バッテリー充電器を分解しないでください。
- ・この充電器はアウトドア使用承認を受けていません。野外での充電を行わないでください。
- ・本体の充電口に直接家庭用AC100Vを繋がないでください。
- ・充電したまま使用しないでください。

注意

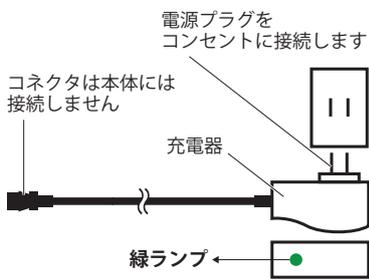
- ・運転前に各ネジの緩みや接続部のパッキンの脱落・亀裂、ホースの亀裂、タンクの破損がないことを確認してください。
- ・噴霧の用途以外の使用はしないでください。
- ・噴霧ホースは、破損の恐れがありますので、無理にねじったり、曲げたり、引っ張ったりしないでください。
- ・お買い上げ後最初に使用する際や、3ヵ月以上の長期間使用しなかったときは、必ずバッテリーの充電を行ってから使用してください。

充電器を初めてご使用する場合

ご使用前に必ず充電を行ってください。



1 充電器を本体に接続する前にコンセントに挿込み、充電器本体のLEDランプが「緑」に点灯するか確認してください。点灯すれば正常です。点灯しない場合は不良が考えられます。



2 点灯が確認できたら充電器を一旦コンセントから抜きます。

3 カクハンスイッチ、電源スイッチが「OFF(○)」に、噴霧調整ダイヤルが反時計回りに回しきっていることを確認します。



4 充電器の出力コネクタを本体のバッテリー充電口に挿入します。



5 奥まで真っ直ぐに挿込んでください。

6 充電器の電源プラグをコンセントに挿込みます。



●充電器本体のLEDランプが「赤」に点灯した場合

充電が開始され、ほぼ充電が終了すると、LEDランプが「緑」に変わります。そこから更に約1~2時間充電してください。

●充電器本体のLEDランプが「緑」に点灯した場合

満充電に近い状態です。そこから更に約1~2時間充電してください。

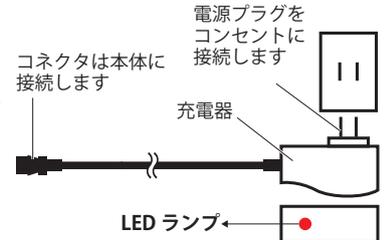
※工場一度満充電にしているため、出荷のタイミングによっては、はじめから「緑」に点灯する場合があります。

注意

- ・充電する際は、必ず電源スイッチを「OFF」にしてください。
- ・14時間以上は充電しないでください。
- ・充電したまま使用しないでください。
- ・過放電させないでください。充電ができなくなります。
- ・噴霧使用後は、必ず充電を行ってください。
- ・バッテリーは自然放電します。長期間使用しない場合でも、3ヵ月に一度は充電を行ってください。

バッテリーの充電 (詳細)

1 充電器の出力コネクタをバッテリーの充電口に挿入し、電源プラグを家庭用AC100Vのコンセントに挿込みます。



注) 充電したまま使用不可

2 充電状況は充電器のLEDランプで表します。「緑」が点灯すれば満充電に近い状態ですが、更に1~2時間充電をします。



※放電状態によって充電時間は変わってきますが、おおよそ7~8時間で満充電になります。

3 完了しましたら、充電器の電源プラグをコンセントから抜き、充電口から出力コネクタを抜きます。

4 電源スイッチを「ON(|)」にします。



5 バッテリーカバーのバッテリーインジケータのLEDランプ「緑」が4つ点灯すれば、バッテリーは正常に満充電されたこととなります。



残量の目安	
緑4個点灯	50 ~ 100%
緑3個点灯	33 ~ 50%
緑2個点灯	15 ~ 33%
緑1個点灯	0 ~ 15% ※すぐに充電してください
緑無点灯	過放電 ※使用できない場合があります

6 LEDランプが全く点灯しない場合は、バッテリーを一旦取り外し、再度取付けてください。

ショルダーベルトの調整

1 安定した台などに本製品を乗せます。



2 本製品を背負います。



3 左右のベルトを下に引張り調整します。重心が上に来るように背負うことで、軽く感じます。



ウエストベルトの調整

1 ウエストベルトのバックルをはめます。



2 ウエストベルトは写真のように8カンの片側のみに通すことで、引張ることができます。



3 左右のベルトを下に引張り調整します。重心が上に来るように背負うことで、軽く感じます。



4 背中と薬剤タンク背面のパッドに隙間が出るような背負い方をすると、後ろに引張られより重く感じます。背中とパッドを密着させる背負い方をすることで、重心が上になり軽く感じます。



運転操作の仕方

警告

- ・薬剤は、必ず薬剤の取扱説明書に従ってください。
- ・前回使用した薬剤が残っていないか確認してください。薬剤が混ざると、化学変化を起こして有毒ガスが発生する恐れがあります。
- ・薬剤タンクに薬剤を入れるときは、必ず備え付けのタンクストレーナー（こし網）を通してください。
- ・ベンジンやガソリンなど可燃性の液体や溶剤、園芸薬剤以外や、酸性及びアルカリ性の液体、油性薬剤、畜産用薬剤、ケルセン水和剤は絶対に使用しないでください。その他、上記のような成分を含んだ薬液も使用しないでください。

注意

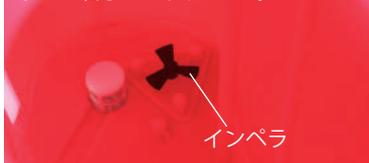
- ・薬剤は規定容量以上入れないでください。
- ・薬剤の取扱いは十分に注意し、体に付着した場合は、よく洗い流してください。

試運転

1 薬剤タンクに5L程度の真水を入れ、タンクストレーナーを取外します。

2 カクハンスイッチを「ON（指を放すとOFFになる）」にし、正常にカクハンしているか確認をします。

タンク内部のインペラに外れや欠けがないか確認をしてください。



カクハンしている状態

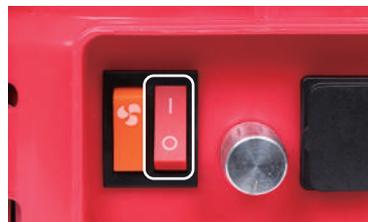


3 確認後、カクハンスイッチから指を放します。

4 ノズル・噴霧管を一旦取外した状態でグリップ先端をタンク内に入れ保持します。



5 電源スイッチを「ON（|）」にし、噴霧調整ダイヤルを時計回りに少し回すと「カチッ」と音がします。更に少し回すとモーター音がします。



6 この状態でグリップのレバーを握るとグリップ先端から水が出れば、正常に作動していることとなります。



7 一旦、噴霧調整ダイヤルを反時計回りに「カチッ」と音がするまで回して停止し、電源スイッチを「OFF（○）」にします。



8 グリップ先端に噴霧管、ノズルを取付け、手順5～6までを行い、噴霧できるか、漏れる箇所はないかを確認します。問題がなければ試運転は完了です。

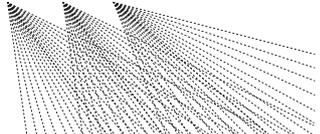
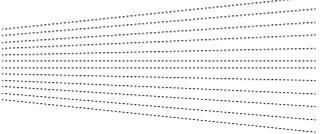


※水が漏れる場合は、その箇所のパッキン等を確認してください。（漏れがある場合は点検・整備の仕方「漏れの対処」を参照）

ノズルの効果

実際に各ノズルを装着し、噴霧の効果を試し、用途にあったノズルをご選択ください。下記は目安です。

E-1		
E-2		
E-3		
E-4		

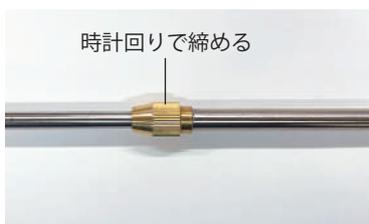
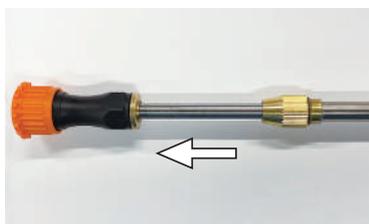
E-5		
E-6	 調整が可能	

噴霧管の伸ばし方

- 1 噴霧管ノズル側のリングを回して緩めます。



- 2 噴霧管を引っ張り、適当な長さになったらリングを回して締付けます。



レバーのロックの仕方

- 1 レバーを握りながらロックレバーをスライドさせるとロックします。

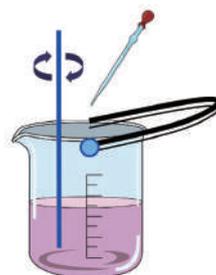


ロック状態



薬剤の調合

- 1 薬剤は、別の容器で調合します。特に、水和剤はよく溶かしてください。十分溶けていないと、噴霧器の寿命や性能に悪影響を及ぼします。



薬剤の充填

- 1 電源スイッチが「OFF (○)」になっていること、噴霧調整ダイヤルが反時計回りに回しきっていることを確認します。



- 2 調合した薬剤を薬剤タンクに入れます。その際、必ず備え付けのタンクストレーナ(こし網)を通してください。充填時にこぼれた薬剤は、その場できれいに拭取ってください。



- 3 薬剤タンクの蓋をしっかりと閉めます。

噴霧作業



レバーがロックされたまま電源スイッチを入れると、いきなり薬剤が噴霧されます。レバーのロックが解除されていること、ノズルの方向、周囲の状況を確認してから電源スイッチを「ON (|)」にしてください。

⚠️注意

- 噴霧作業中は常に風向きを考え、風上から風下に噴霧して薬剤が体や対象物以外に直接付着しないように十分ご注意ください。
- 運転時は必ずタンクに、薬剤または水を入れて行ってください。空運転はポンプを傷め、故障の原因になります。
- 日中の気温が高いときの噴霧作業は避けてください。朝、午後での噴霧作業をお勧めします。

- 1** カクハンスイッチを「ON」にし、5～10秒程度カクハンをします。



カクハンしている状態



⚠️注意

カクハンスイッチを長時間押した状態にしたり、カクハンスイッチを押しながら噴霧作業を行わないでください。バッテリーの消耗が激しくなります。

- 2** 電源スイッチを「ON(|)」にし、バッテリーインジケータのLEDランプの「緑」が4つ点灯していることを確認します。



- 3** 噴霧調整ダイヤルを時計回りに回すと「カチッ」と鳴り、更に回すと徐々に噴射出力が高くなります。反時計回りに回すと徐々に噴射出力が低くなり、「カチッ」と鳴り回しきると停止します。



- 4** ノズルの方向を定めレバーを握ると、噴霧が始まります。放すと止まります。



- 5** レバーを握りながら、ロックレバーをスライドさせるとロックされ、連続噴霧になります。



👉モーター音が止まる。

電源スイッチを「ON(|)」にし、噴霧調整ダイヤルを時計回りに回すと薬剤を吸い上げるモーターの音がし、グリップ部分まで薬剤が到達するとモーターが止まりますが故障ではありません。グリップを握ると再びモーターが作動し噴霧できるようになります。薬剤が少なすぎると作動しない場合があります。

- 6** 使用中にバッテリーインジケータのLEDランプの「緑」が1つ点灯になったら使用を中止し、充電をしてください。無点灯になるまで使用しないでください。過放電になり充電ができなくなります。



噴霧終了

- 1** 使用後は、残った薬剤を抜いてタンク内をきれいな水で洗います。タンクを傾けて排出します。

⚠️警告

残った薬剤は下水や河川、池、沼等には絶対に捨てないでください。

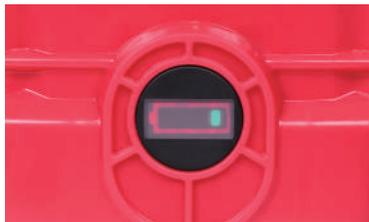
- 2** きれいな水をタンクに入れ、2～3分程度噴射して、ホース、ノズルの洗浄を行います。



- 3** 洗浄が完了したら、噴霧調整ダイヤルを反時計回りに回しきります。



- 4** バッテリーインジケータでバッテリーの残量を確認します。



残量の目安

緑4個点灯	50 ~ 100%
緑3個点灯	33 ~ 50%
緑2個点灯	15 ~ 33%
緑1個点灯	0 ~ 15% ※すぐに充電してください
緑無点灯	過放電 ※使用できない場合があります

- 5** 電源スイッチを「OFF (○)」にします。



- 6** 使用後は速やかに充電を行います。



- 7** 長期間使用しない場合でも、3か月に一度は必ず充電を行ってください。

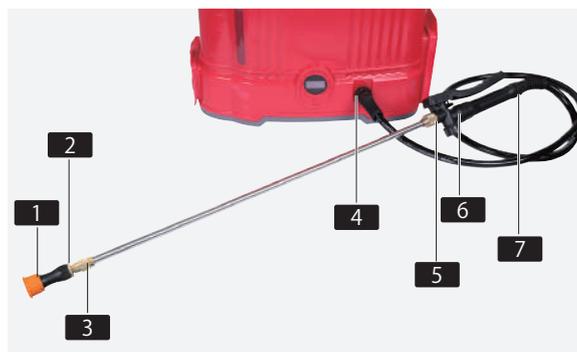
点検・整備の仕方

警告

- 点検・整備を行う際は、必ず電源スイッチを「OFF (○)」にしてください。
- 薬剤がタンク、ホース、ノズルなどの内部に残っていない状態で、点検・整備を行ってください。
- 残った薬剤は下水や河川、池、沼等には絶対に捨てないでください。

漏れの対処

どの位置から漏れるかを確認します。



- 1** ノズルには2種類のタイプがあります。噴霧の調整ができるAタイプは柄の部分にパッキンがあり、劣化やゴミの付着により漏れの原因になります。Bタイプはヘッド内部にパッキンがあり、劣化やゴミの付着、緩み(漏れの多くの原因が緩みです)により漏れの原因になります。

Aタイプ



Bタイプ



- 2** ノズルと噴霧管の接続部から漏れる場合は、緩み、噴霧管先端のパッキンの劣化やゴミの付着などが原因です。劣化が見られる場合はパッキンの交換が必要となります。



- 3** 噴霧管の延長部から漏れる場合は、中間のパッキンの破損やゴミの付着などが原因です。破損している場合は噴霧管の交換が必要となります。



- 4** 本体の接続口から漏れる場合は、噴霧ホースのパッキンの破損やゴミの付着などが原因です。破損している場合はパッキンの交換が必要となります。



- 5** グリップと噴霧管の接続部から漏れる場合は、噴霧管の緩み、パッキンの劣化やゴミの付着などが原因です。劣化が見られる場合はパッキンの交換が必要となります。



- 6** グリップから漏れる場合は、パッキンの劣化やゴミの付着などが原因です。劣化が見られる場合はパッキンの交換が必要となります。



7 グリップと噴霧ホースの接続部から漏れる場合は、噴霧ホースのパッキンの破損やゴミの付着などが原因です。



破損している場合はパッキンの交換が必要となります。



長期間使用しないとき

保管方法

⚠️注意

- ・タンク内に薬剤を入れたまま、保管しないでください。
- ・冬場に水を入れたまま屋外に放置しないでください。ポンプやホースなど凍結して破損します。

1 バッテリーは自然放電します。保管前に満充電にし、接続コネクタをはずしてから湿気の少ない場所で保管してください。

2 バッテリーは、少なくとも3か月に一度は充電を行ってください。定期的に充電を行わないと、バッテリーの性能が著しく低下し、次のシーズンに使用できなくなる恐れがあります。

⚠️注意

バッテリーを充電する際は、必ず接続コネクタを取付けたから行ってください。

3 本機を長期間保管する時は、屋内の直射日光が当たらない場所に保管してください。

4 タンク、ポンプ、ホース、グリップ、噴霧管、ノズルから水分を完全に抜いてから保管してください。冬場に凍結し破損する恐れがあります。

※詳細はWEB取説をご覧ください。

保証内容について

2025.10 現在

本規約は、ハイガー(以下「弊社」とする)を経由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記したものです。

弊社商品には商品保証書等は同梱しておりません。お客様の購入履歴や保証情報は弊社にて管理・保管しておりますのでご安心ください。

返送いただく場合商品を再梱包していただく必要がございますので、梱包材はお捨てにならないようお願いいたします。

1. 保証の期間

商品発送日(ご来店引取の場合ご来店日)から1年間といたします。業務用・営業用として使用される場合、保証期間は6ヵ月といたします。

保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり有償対応となります。

商品発送日より7日以内の初期不良にあたる場合、送料・手数料弊社負担にて対応いたします。

2. 保証の適用

・お買い上げいただいた弊社商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。(以下、この無料修理を「保証修理」とする)往復送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。

・保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。保証修理で取り外した部品は弊社の所有となります。

・本規約は、第一購入者のみに有効であり、譲渡することはできません。ご購入された年月日、販売店、商品、製造番号の特定ができない場合、保証が受けられない可能性があります。

・本規約の対象となる商品とは、日本国内で使用し故障した商品とします。日本国外に持ち出した時点で保証は無効となります。

3. 保証適用外の事項

(1) 純正部品あるいは弊社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合

(2) 保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合

(3) 一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合

(4) 取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合

(5) 示された出力や時間の限度を超える使用により生じた不具合

(6) 弊社が認めていない改造をされたもの

(7) 地震、台風、水害等の天災により生じたもの

(8) 注意を怠った結果に起きたもの

(9) 薬品、雨、雪、氷、石、塩分等による外から受ける要因によるもの

(10) 使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象(退色、塗装割れ、傷、腐食、錆、樹脂部品の破損や劣化等)

(11) 機能に影響のない感覚的な現象(音、振動、オイルのにじみ等)

(12) 弊社または弊社が認めているサービス店以外にて修理をされた商品

(13) 使用することで消耗する部品または劣化する部品(ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギヤ・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、パネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャーペン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等)

(14) 保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等

(15) 商品を使用できなかったことによる損失の補填(休業補償、商業損失の補償、盗難、紛失等)

4. 別扱いの保証

部品メーカーが個別に保証している部品については部品メーカーの保証が適用されます。

5. 保証修理の受け方

まずはお問い合わせフォームにて弊社へご連絡ください。

またはお近くの修理協力店へご連絡をしてください。

症状・使用状況を伺い、手続方法をご案内させていただきます。

6. 注意事項

・動作点検を行ってから出荷しておりますので、燃料やオイル、水分が残っていたり、多少の傷や汚れ等が付いている場合があります。

・部品の在庫がない場合、お取り寄せにお時間をいただくことがあります。

・仕様変更などにより同時交換部品が発生する可能性があります。

・仕様変更などによりアッセンブリーでの供給しかできない場合があります。

・生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。

・無在庫転売(送り先が毎回違う購入者)の場合、転売者より購入した商品の場合、保証は無効となります。

また発算次第転売者への措置を取らせていただきます。

■アフターサービスについて■

1. 販売機種が対象となります。※弊社で商品をお買い上げの方に限らせていただいております。

2. 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。

3. 保証期間(1年間)を過ぎたものは、保証期間内におけるご使用回数に関係なく、すべて有償となります。

4. 修理の際の往復の送料はすべてお客様ご負担となります。

5. 修理協力店へご依頼の際は、直接修理協力店に修理代をお支払いください。